

平成28年度  
奈良県小学校教育課程研究集会  
社会科

平成28年8月10日 県立教育研究所  
奈良県教育委員会事務局 学校教育課  
指導主事 谷 聡

# 本日の説明内容

1. 実践報告 奈良市立大宮小学校 池見 繁 教諭
2. 小学校社会科における学習指導要領改訂の方向性
  - (1) 何を学ぶか
  - (2) 何ができるようになるか
  - (3) どのように学ぶか
3. まとめ
  - (1) 評価について
  - (2) 各学校にお願いしたいこと

# 1. 実践報告 奈良市立大宮小学校 池見 繁 教諭

# 池見教諭の授業実践より

## ○「問い」と「育成すべき資質・能力」との関係

- 「なぜ、スーパーマーケットでは、たくさんの家の人が買い物をしているのだろう。」  
→個別の事実に関する知識ではなく、概念等に関わる知識の習得につながる問い  
追究の視点を生かした、考察する力の育成につながる問い
- 「あなたの家にとって買いやすいお店は、A店とB店、どちらのお店？」  
→追究の視点を生かした、選択・判断できる力の育成につながる問い
- 「お年寄りにとって買いやすくするために、店はどのようにすべきだろう。」  
→追究の視点を生かした、選択・判断できる力の育成につながる問い

## 2. 小学校社会科における学習指導要領改訂の方向性

# 現行学習指導要領における社会科の課題

- 主体的に社会の形成に参画しようとする態度等の育成
- 資料から読み取った情報を基にして社会的事象の特色や意味などについて比較したり、関連付けたりして考察し、表現すること
- 社会的事象を多面的・多角的に考察したり、事象相互の関連性を表現したりすること

以上のことについては、更なる充実が必要である。

## (1) 何を学ぶか

### 次期学習指導要領における小学校社会科の目標

- 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり、解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり養う。

- ① 地域や我が国の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して、社会生活について理解するとともに、調査や諸資料から情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ② 社会的事象の特色や相互の関連、意味について多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、思考・判断したことを適切に表現する力を養うようにする。
- ③ 社会的事象について、よりよい社会を考え課題を意欲的に解決しようとする態度を養うとともに、多角的な考察や理解を通して涵養される地域社会に対する誇りと愛情、我が国の国土や歴史に対する愛情、地域社会の一員としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さの自覚を養うようにする。

## (2) 何ができるようになるか

### 知識・技能

- 「知識」＝社会的事象等に関する知識
  - ① 個別の事実等に関わる知識（用語・語句）
  - ② 汎用的に使うことのできる概念等に関わる知識（社会的事象の特色や意味、理論）
  
- 「技能」＝社会的事象等について調べまとめる技能  
これまでは、「観察・資料活用の技能」としてきたが、観察や資料活用を通して「社会的事象等に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能」として捉え、整理する。

# 思考力・判断力・表現力等

① 社会的な見方や考え方をを用いて、社会の在り方や社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察する力

・社会の在り方や、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連について、概念等を活用して多面的・多角的に考察できる	
・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察できる	
・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多角的に考察できる	



思考力(論理的思考力、批判的思考力)

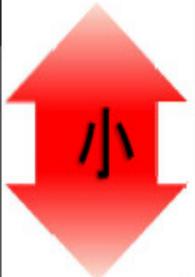
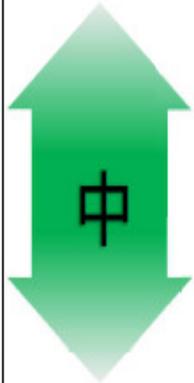
② 社会的な見方や考え方をを用いて、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想する力

・社会に見られる複雑な課題を把握して、身に付けた判断基準を根拠に解決に向けて構想できる	
・社会に見られる課題を把握して、複数の立場や意見を踏まえて、解決について選択・判断できる	
・社会に見られる課題を把握して、解決に向けて自分たちにできることを選択・判断できる	



判断力

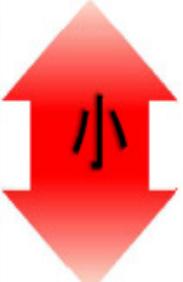
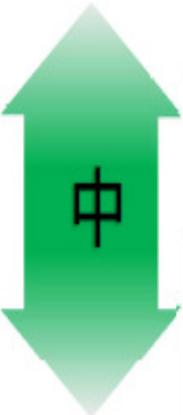
### ③ 考察したこと，構想したことを説明する力

・適切な資料・内容や表現方法を選び，社会的事象についての自分の考えを効果的に説明できる			
・主旨が明確になるように内容構成を考え，社会的事象についての自分の考えを論理的に説明できる			
・根拠や理由を明確にして，社会的事象についての自分の考えを論理的に説明できる			



表現力

#### ④ 考察したこと，構想したことを基に議論する力

・合意形成を視野に入れながら，社会的事象について構想したことを，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論できる			
・他者の主張を踏まえたり取り入れたりして，社会的事象についての自分の考えを再構成しながら議論できる			
・他者の意見につなげたり，立場や根拠を明確にしたりして，社会的事象についての自分の考えを主張できる			



表現力

# 学びに向かう力・人間性等

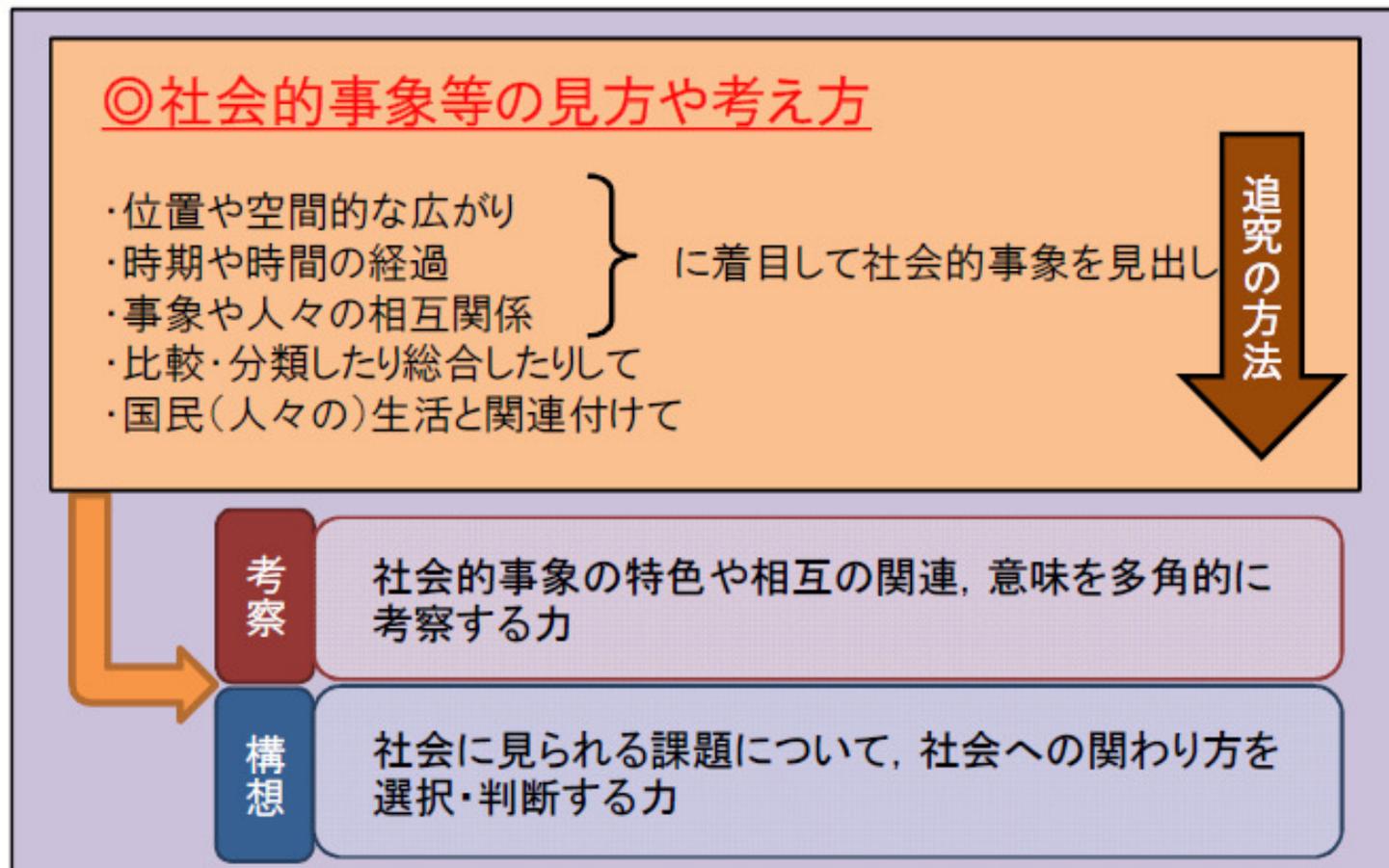
○「主体的に学習に取り組む態度」

○「多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情など」

# 社会的な見方・考え方

- 社会的な見方・考え方は、資質・能力全体に関わるもの
  - ・ 深い学びを実現するための思考力や判断力の育成
  - ・ 知識の構造化
  - ・ 主体的に学習に取り組む態度
- 課題解決的な学習において、考察や構想（選択・判断）したりする際の「視点や方法」のこと
- 小、中、高等学校と校種が上がるにつれて視点の質やそれを生かした問いの質が高まることで成長する。
- 「社会的な見方・考え方」は小、中、高等学校の各「見方・考え方」の総称であり、小学校においては「社会的事象等の見方・考え方」を表している。

# 社会的事象等の見方・考え方



## 追究の視点例

### ○位置や空間的な広がり の視点

地理的位置, 分布, 地形, 環境, 気候, 範囲,  
地域, 構成, 自然条件, 社会的条件, 土地利用  
など

### ○時期や時間の経過 の視点

時代, 起源, 由来, 背景, 変化, 発展, 継承,  
維持, 向上, 計画, 持続可能性 など

### ○事象や人々の相互関係 の視点

工夫, 努力, 願い, 業績, 働き, つながり,  
関わり, 仕組み, 協力, 連携, 対策・事業, 役割,  
影響, 多様性と共生(共に生きる) など

## 追究の視点を生かした、考察や構想に向かう「問い」の例

- ・どのように広がっているのだろう
- ・なぜこの場所に集まっているのだろう
- ・地域ごとの気候はどのような自然条件によって異なるのだろう
  
- ・いつどんな理由で始まったのだろう
- ・どのように変わってきたのだろう
- ・なぜ変わらずに続いているのだろう
  
- ・どのような工夫や努力があるのだろう
- ・どのようなつながりがあるのだろう
- ・なぜ〇〇と〇〇の協力が必要なのだろう

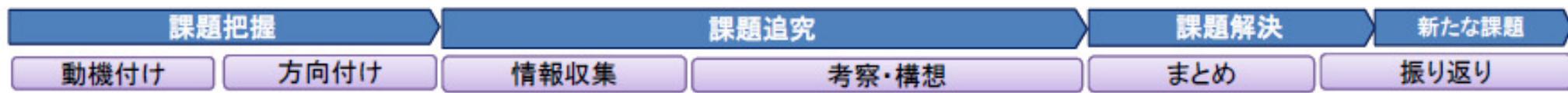
- ・どのように続けていくことがよいのだろう
- ・共に生きていく上で何が大切なのだろう

## 考察、構想した結果、獲得する知識の例

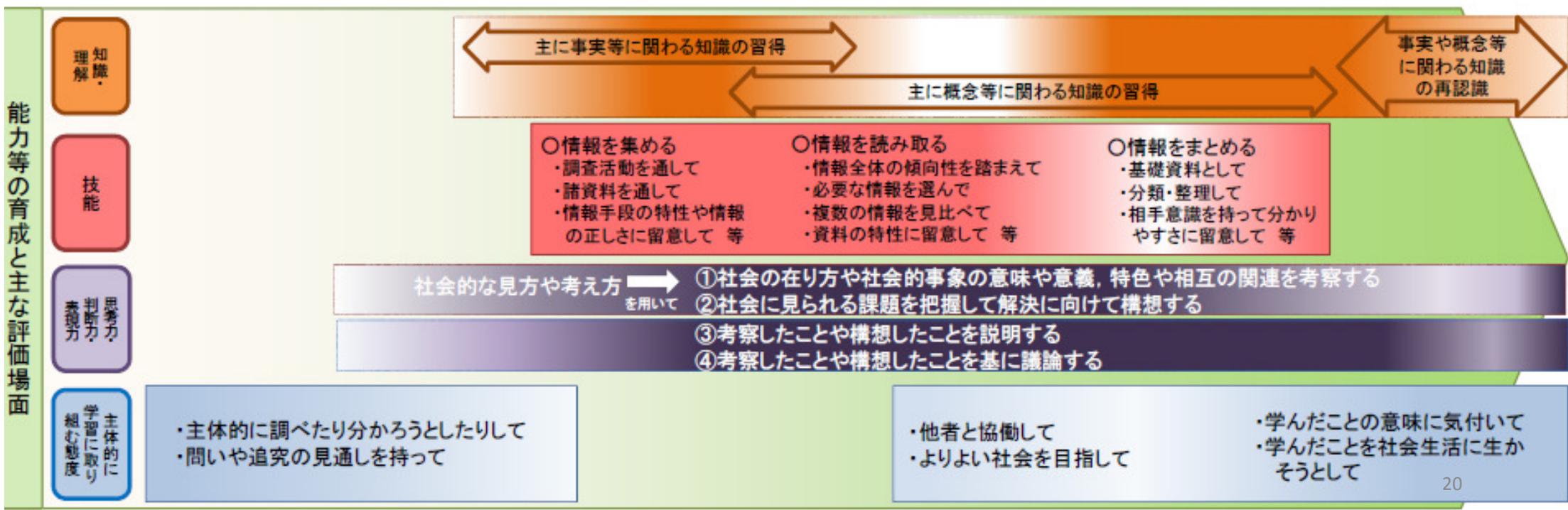
- ・いくつかの組立工場を中心に部品工場が集まり、工業が盛んな地域を形成している
- ・駅の周囲は交通の結節点なので人が多いため商業施設が集まっている
- ・国土の地理的位置や地形、台風などの自然条件によって気候は異なる
- ・祭りは地域の豊作や人々のまとまりへの願いから始まった
- ・農作業は機械化により生産効率を向上させてきた
- ・伝統芸能は技や道具が継承されるとともに、多くの人々に受け入れられて今に至っている
- ・地域の安全は、関係機関の未然防止と緊急対応によって守られている
- ・食料生産は私たちの食生活を支える役割を果たしている
- ・政治には国民生活の安定と向上を図る働きがある

- ・伝統と文化は受け継ぐだけでなく時代に合わせ発展させていく必要がある
- ・世界の人々と共に生きるには、文化や考え方の違いを認め合い、課題を解決しながら理解し合っていくことが大切である

# 資質・能力を育む学習過程の在り方

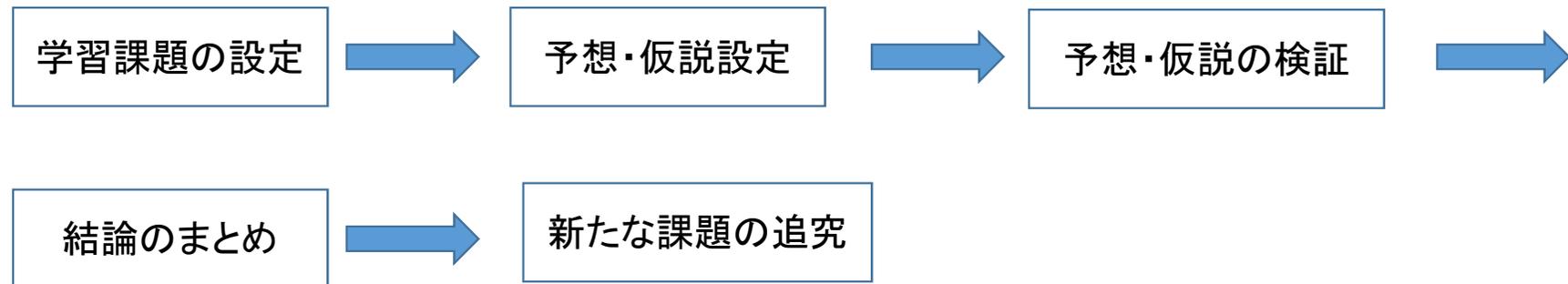


主な学習過程の例	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習課題を設定する</li> <li>・社会的事象を知る</li> <li>・気付きや疑問を出し合う</li> <li>・課題意識を醸成する</li> <li>・学習課題を設定する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●課題解決の見通しを持つ</li> <li>・予想や仮説を立てる</li> <li>・調査方法、追究方法を吟味する</li> <li>・学習計画を立てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●予想や仮説の検証に向けて調べる</li> <li>・学校外での観察や調査などを通して調べる</li> <li>・様々な種類の資料を活用して調べる</li> <li>・他の児童生徒と情報を交換する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察する</li> <li>・多面的・多角的に考察する</li> <li>・話し合う(討論等)</li> <li>●社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する</li> <li>・複数の立場や意見を踏まえて解決について選択・判断する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●考察したことや構想したことをまとめる</li> <li>・学習課題を振り返って結論をまとめる</li> <li>・結論について他の児童生徒と話し合う</li> <li>・学習課題についてレポートなどにまとめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習を振り返って考察する(再構成)</li> <li>・自分の調べ方や学び方、結果を振り返る</li> <li>・学習成果を学校外の他者に伝える</li> <li>・新たな問い(課題)を見出したり追究したりする</li> </ul>



# 資質・能力を育む学習過程の在り方

- 課題解決的な学習過程



◇知識・概念・技能を習得し、それらを活用して思考・判断・表現しながら課題を解決する学習過程の授業づくりを行う。

◇そのためには、知識の構造化が必要である。

### (3) どのように学ぶか

## 主体的・対話的で深い学びの実現（「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善）について

#### 【深い学び】

習得・活用・探究の見通しの中で、教科等の特質に応じて育まれる見方・考え方を働かせて思考・判断・表現し、学習内容の深い理解や資質・能力の育成、学習への動機付け等につなげる**「深い学び」**が実現できているか。

#### 【対話的な学び】

子供同士の協働、教員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自らの考えを広げ深める**「対話的な学び」**が実現できているか。

#### 【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる**「主体的な学び」**が実現できているか。

## 3. まとめ

### (1) 評価について

## (2) 各学校にお願いしたいこと

◇現行の学習指導要領の趣旨を改めて確認し、その実現を図る。

- ・ 問題解決的な学習などを一層充実させる → **課題を追究、解決する学習活動**
- ・ 社会的な見方や考え方を養い、そこで身に付けた知識、概念や技能などを活用し、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培うことを重視



**社会的な見方・考え方を働かせ、思考・判断・表現  
することで、深い理解や新しい学びへ向かう授業**

◇見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動の充実を図る。

◇家庭での学習を含め、適切な学習習慣を身に付ける指導の充実を図る。